

第 42 期 ITC-J 会長 高山 敦子  
 テーマ：「守る 変える そして進歩」

ITC-J 第 42 期年次大会  
 大会テーマ「繋 つなぐ」  
 2024 年 7 月 15 日（月）16 日（火）

第 43 期テーマ：カウンスル No.2 このままでいいですか？  
 ～ひとりで思う、ふたりで語る、みんなで考える～

開かずの扉を開く

第 43 期カウンスル No.2 会長 鶴山 紀子



先月、民間ロケット「カイロス」初号機打ち上げに期待が寄せられましたが、成功は持ち越されました。「失敗は新しい挑戦に向けての糧」と捉える技術者のポジティブな姿勢に学ぶことは多く、宇宙ビジネスの発展によって宇宙への夢がより現実味を帯びてきました。宇宙飛行士選考において最終のポイントは①確かな自分の意見を持って主張できるか②他者を思いやることのできるかの 2 つであると聞きました。多国籍の乗員が長期間狭い空間で過ごすことを考えると、コミュニケーションの大切さは言うまでもありません。

大岡信著『ことばの力』に“言葉の通路には薄暗がりがある…人間の心には無数の扉があって、ある扉はたえず開かれたり閉じたりしているのに、一生に一度か二度しか開かない扉もまたある…その開かずの扉が何らかのきっかけで開くときに生じる他者との全く新しい関係、それこそがかけがえのない「コミュニケーション」の姿のように思われる”とあります。また、染色を例に挙げて“はんなりとした美しいピンク色は、桜の花びらを煮詰めて出来るものではなく、樹の皮、黒っぽいごつごつした桜の幹や枝から抽出される。春先になると、桜は樹全体で懸命になって最上のピンク色になろうとする”と著されています。口先だけから美しく正しい言葉は発せられるはずもなく、体全体、本質的なものから発せられてはじめて人の心にとどく最上の言葉になるのだと思います。そして、どんなに最上の言葉が発せられようとも、聴く側が耳を傾けなければ、相手の言葉を受け取ることは出来ません。また、一生懸命聴いていることを相手に示す表情やうなずきなど言葉に頼らないコミュニケーションも大切なことです。

本日、第 2 回会合プログラムはスピーチコンテストです。聴く側は準備を積み重ねてこられたスピーカーを思いやり、スピーカーが発する言葉に敬意を払い、開かずの扉が一瞬でも開かれる時が訪れることを期待しています。



第 1 回会合風景：会長メール第 3 便（11/27 配信）、ウェブサイトもご覧ください。



2024年1月20日  
六甲クラブ新年例会  
にて撮影  
2024年1月24日永眠

杉谷和代様の在りし日のお姿を偲びつつペンを執っています。彼女の急逝には言葉が見つかりませんでした。私にとって杉谷さんは人生の優しい師匠でした。ITCをこよなく愛し、人を愛し、心が広く前向きで、常にグローバル観点で考える素敵な女性でした。また誰からも慕われる国際的なメンターでした。どうぞ安らかにお眠りください。  
イースト神戸クラブ会長 藤木 桂子

杉谷さんの突然のご逝去はイースト神戸クラブに大きな喪失感をもたらしました。あまりの衝撃に言葉も見つからず、只々その存在の大きさに改めて気づき、数多くの教えをいただいたことに毎日感謝しております。杉谷さんの言葉は前向きで、温かい思いやりがありました。その教えを心に刻み、私たちも前に進んでいきたいと思えます。  
イースト神戸クラブ会員 辻坊 洋子

## 共に考える Part2

NEWSLETTER 第1号では、クラブの実状や問題点、カウンスルへ望むこと、ITC-Jのよいところ、会員であり続ける理由、ITC-Jの魅力などについてのご意見をまとめました。第2号ではスピーチコンテストについて共に考えたいと思います。

カウンスル No.1 の2010年度会報に、スピーチコンテストに関するアンケートを実施しその結果をまとめられたものがありました。「ITCは役目をこなし、学んでいく団体です。話す・聴く・評価するという点でスピーチコンテストはITCのプログラムとして優れたものです。ぜひ毎年開催をという明確なご意見がある一方、規則が厳しい、プレッシャーになる、会員減少でスピーチコンテスト開催そのものが大きな負担であるという意見もあり、スピーチコンテストを考えることはITCのこれからを考えることに通じるものがあるように思われます。このアンケートが今後のITCスピーチコンテストの方向性のヒントになると思います」とありました。10年以上も前に会員に問題を投げかけて、スピーチコンテストについて考えてきたカウンスルがありました。そのうちに、クラブでスピーチコンテストを行わずにデモンストレーションで出場してもよくなり、ITC-Jでもメモの使用が認められてハードルは少し下げられましたが、負担やプレッシャーが解消されたわけではありません。

教育マニュアル(2023年7月改訂)には、スピーチの基本として「コミュニケーション技術を学ぶことを目的の一つとし、その基本としてスピーチがある。ITC-Jではすべてのレベルで原則として年一回のスピーチコンテストを開催し、会員の学びの成果を発表する機会としている。また多くのプログラムにおいてスピーチの技術を必要とするので、参加することによって技術を磨くことができる。スピーチは大切なことや自分の思いを伝えるために行う」と記されています。

以前、外部の立場からITCを分析された高濱黄太氏は「ITCを運営し活動するプロセスで自分を表現することが求められ、評価を行ったり評価を受けることで『人』が洗練され、感性や意識を高いところに保つことになる」と話されました。自分を表現する機会のひとつがスピーチコンテストであること、そしてスピーチコンテストの目的が正しく伝わってこそ真の学びになると思えます。スピーカーの皆様、力いっぱいご自分を表現なさってください。

- ・自分の考えを言葉にして人に伝える機会である。
- ・会員の学びの成果として捉えている。
- ・高齢になってスピーチ原稿を覚えにくくなったが、チャレンジ出来る機会であると前向きに考える。
- ・デモンストレーションでよくなったけれども、順番に回ってくるので仕方なくスピーカーを受けている。
- ・人前で発表することにプレッシャーを感じる。



編集後記: 第43期編集は1,2号通してテーマを「共に考える」としました。皆様には常に考え続ける姿勢であることを願っています。カウンスル No.2 にとって少しさびしい春になりましたが、Stay positive!

編集者岡田京子 スタッフ旭榮

## 第 43 期カウンスル No.2 スピーチコンテスト

### 〈 英語の部 〉

出場順	スピーカー	クラブ	論題	題目	タイム
	立花 眞琴	神 戸	Peace	I Pray for World Peace	
	筆本美智子	イースト神戸	Future	His Future, My Future	

### 〈 日本語の部 〉

出場順	スピーカー	クラブ	論題	題目	タイム
	朝田美恵子	阪 神	共 に	一杯のお茶に心を添えて	
	立石 峯子	京 都	笑 顔	忘れ得ぬ音	
	柚本加代子	六 甲	多様性	老いても挑戦！	
	高畠 季子	御 影	身分証明	あなたは誰？	

審査員	英語・日本語	藤原麻理奈（英語塾主催、ニュージーランドスピーチボードのアドバンスト資格取得）	
	英語・日本語	高山 敦子（ITC-J 第 42 期会長）	
	英語	小野 未紗（英語サークル会員、イギリス留学・滞在 10 年）	
	日本語	小八木利子（No.5 南大阪）	
審査員補	英語・日本語	伯井 睦子（甲南）	
評価者	英語	大谷差智子（神戸）	松浦眞知子（イースト神戸）
	日本語	但野眞理子（阪神）	横山 末子（六甲）
		角田 亘子（御影）	山崎 眞知（三田）
プログラムリーダー		藤木 桂子（イースト神戸）	
テラー		辻坊 洋子（イースト神戸）	若林 裕子（甲南）
		梶木 博子（御影）	
タイマー		善塔貴美子（阪神）	笠原 典子（京都）
ページ		船橋 侑子（阪神）	後藤 蓉子（甲南）

- ※ 携帯電話の電源は必ず OFF にしてください。
- ※ スピーチ中の写真撮影はご遠慮ください。
- ※ スピーチ中は会場への出入りはご遠慮ください。

### カウンスル No.2 第 43 期スピーチコンテスト委員会

委員長 杉谷 和代（イースト神戸）

2024 年 2 月～井上 明子（甲南）

委員 播磨由美子（甲南）

正明 裕子（御影）

中田 敬子（三田）

## ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

## カウンスル No.2 第 43 期 第 2 回会合プログラム

日時：2024 年 4 月 23 日（火） 11:00~15:00

場所：神戸ポートピアホテル 和楽の間

開 会	会 長	鵜山 紀子	11:00
ITC-J 宣誓		旭 榮（阪神）	
挨拶	会 長	鵜山 紀子	
ゲスト紹介	会長 / 第二副会長	堂下 漣子	
ビジネス			
役員就任式	インストラリングオフィサー	中川 愛子（京都）	11:30
	— 昼食（60分） —		
午後の部開始			13:00
インスピレーション		高井 和代（甲南）	
		『基本をつきつめた人しか行けないゾーンがある』	
		内村 航平	
プログラム	プログラムリーダー	藤木 桂子（イースト神戸）	
	スピーチコンテスト		
登録者数報告	コーディネーター	藤之原仁美（三田）	
タイム報告	タイマー	中里 左知（イースト神戸）	
		興梠 美和（御影）	
次回案内	次期第一副会長	深澤佳代子	
閉 会	会 長	鵜山 紀子	15:00
	ホストクラブ	三田クラブ	
	コーディネーター	藤之原仁美（三田）	
	コ・コーディネーター	大西奈香子（三田）	

クラブ	阪 神	神 戸	イースト神戸	京 都	甲 南	六 甲	御 影	三 田	合 計	
会員数	10	5	7	14	8	5	8	11	68	
登録者数										
ゲスト	一般ゲスト			他カウンスルゲスト						
	総合計									